

碧

祥

空

雲

麗

祥雲碧空に麗なり

新年のおめでたい雲(祥雲)が晴れ渡った空(碧空)にあらわれた、澄んで美しいようす。

(金幼孜の語)

隸書
後漢時代の石門頌・之瑛碑・礼器碑
史晨碑・西狭頌・曹全碑・張遷碑
などを参考にしている。
横画の収争に波磔を備えたものと、特に
八分という。起筆は藏鋒、字型は方形、又は
扁平に、左右対称に、ゆったり重厚に書く